

“幸せを運ぶコウノトリ”と  
共生するまちづくり  
アクションプラン

令和6年度～令和10年度



令和6年3月策定



雲南市



# 目次

I. アクションプラン策定の目的.....	1
II. アクションプランの位置づけと期間.....	1
1. アクションプランの位置づけ.....	1
2. アクションプランの期間.....	1
III. 基本方針                    (ビジョン再掲) .....	2
IV. アクションプランの概要 (体系図) .....	3
V. アクションプラン.....	5
コウノトリの保護に関する基本的な取り組み.....	5
1. コウノトリが継続的に営巣できる豊かな環境づくり.....	6
(1) 学習・情報発信 .....	6
(2) 生きものを育む農業の推進 .....	8
(3) 生物多様性の保全 .....	9
2. コウノトリがもたらす恵みの好循環.....	11
(1) イメージの活用 .....	11
(2) 産業分野での活用 .....	12
3. 継続的な活動を支える仕組みづくり.....	14

# I. アクションプラン策定の目的

雲南市では、平成31年3月に「“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりビジョン」を策定しました。このビジョンは、市内外の共感と協力を得ながらコウノトリが継続的に営巣できる自然豊かな環境づくりに取り組み、コウノトリによってもたらされる恵みを活用して、雲南市総合計画に定めるまちづくりの基本理念「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を実現していくとともに、雲南市のブランド価値の向上を図ることを目的としています。計画期間は平成31年度から令和10年度までの10年間です。ビジョンを具体化し着実に実現していくため、本アクションプランを策定します。

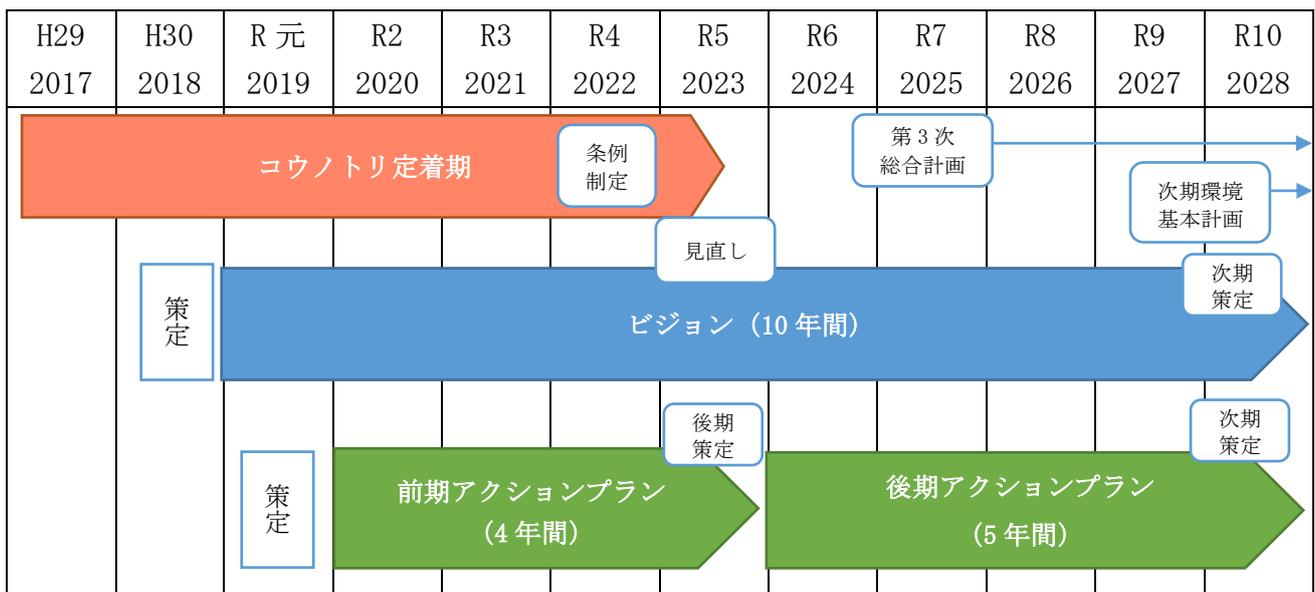
# II. アクションプランの位置づけと期間

## 1. アクションプランの位置づけ

このアクションプランは、ビジョンを具体化し着実に実現していくために必要な事業を具体的な行動計画としてまとめたものです。

## 2. アクションプランの期間

10年間のビジョンに連動し、アクションプランは、前期を令和2年度から4年間、後期を令和6年度からの5年間とします。



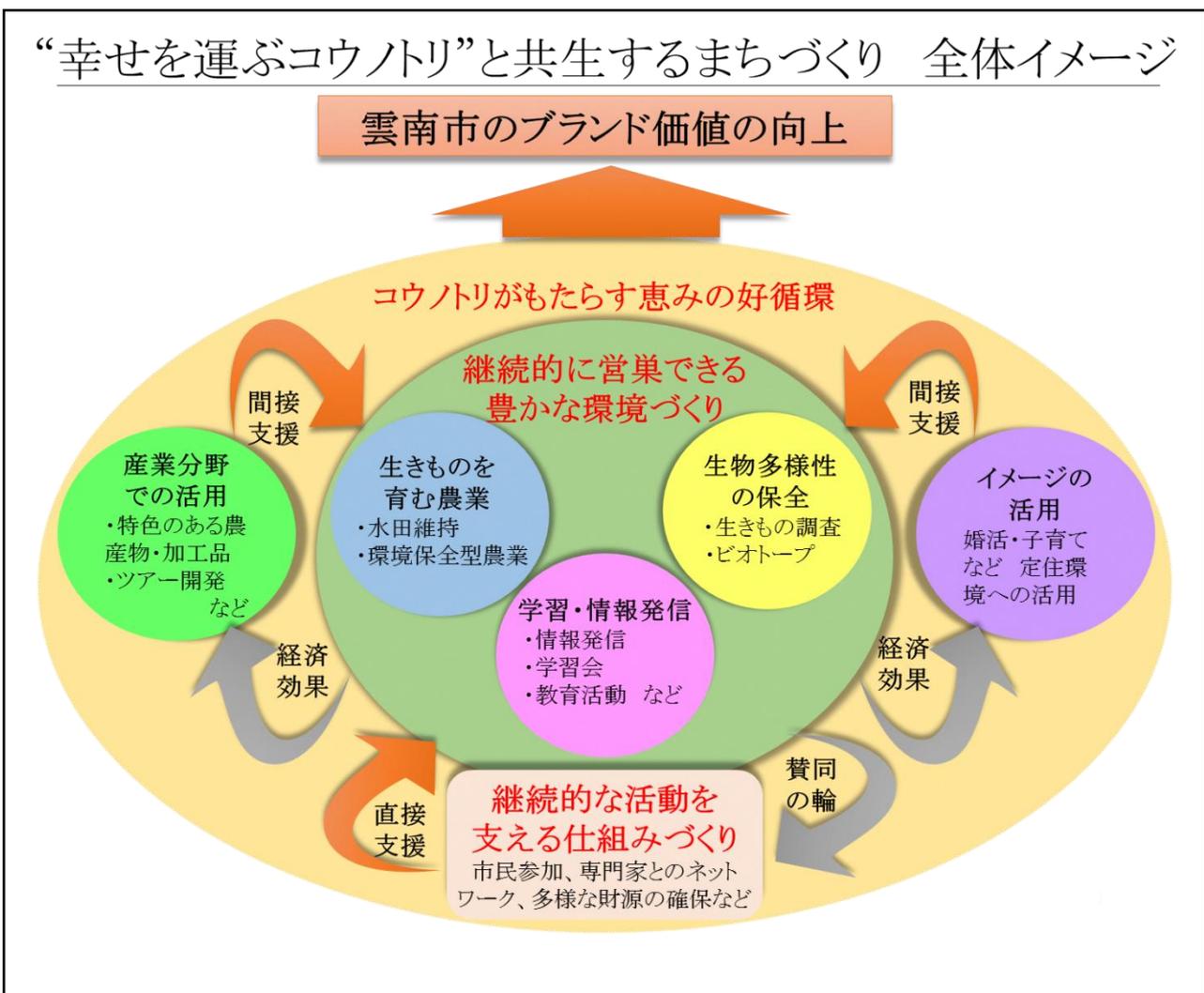
### Ⅲ. 基本方針

(ビジョン再掲)

## “幸せを運ぶコウノトリ” と共生するまちづくり

1. コウノトリが継続的に営巣できる豊かな環境づくり
2. コウノトリがもたらす恵みの好循環
3. 継続的な活動を支える仕組みづくり

以上の基本方針に基づき“幸せを運ぶコウノトリ” と共生するまちづくりを進め、雲南市のブランド価値の向上を図ります。



## IV. アクションプランの概要（体系図）

基本方針（ビジョン）		事業	
コウノトリの保護に関する基本的な取り組み		①保護活動	
		②観察ルール of 周知	
		③自然環境の保護	
		④水辺環境の整備	
		⑤愛称募集	
1. コウノトリが継続的に営巣できる豊かな環境づくり	(1) 学習・情報発信	コウノトリに関する情報を積極的に発信します	
		市民がコウノトリや生物多様性 <sup>※1</sup> を学ぶ機会を促進します	
		学校等で生物多様性を学ぶ機会を設けます	
	(2) 生きものを育む農業の推進	生物多様性を育む水田農業を維持します	
		環境に配慮した農業を推進します	
	(3) 生物多様性の保全	専門家によるコウノトリや生物多様性に関する調査を行います	
		耕作困難な農地のビオトープ化を推進します	
		ネイチャーポジティブ <sup>※3</sup> の実現に取り組みます	
			⑥市報等での情報発信
			⑦定点カメラの活用
			⑧施設等での展示
			⑨学習会の開催
		⑩団体等による学習会の開催の支援	
		⑪生きものに関する学習の推進	
		⑫水田農業の維持・推進	
		⑬環境に配慮した農業の推進	
		⑭生息環境に関する調査	
		⑮調査・研究の積極的な受け入れ	
		⑯耕作困難な水田のビオトープ <sup>※2</sup> 化の推進	
		⑰OECM <sup>※4</sup> の設定などを推進します	

※1 生物多様性：生きものたちの豊かな個性とつながり。生命は全て支えあって生きており、生物多様性を保全することにより人間もより豊かな営みができることとされている。

※2 ビオトープ：生きものの生息地の意味。動物や植物が恒常的に生活できるように造成又は復元された場所を指すことが多い。生きものの種類によって様々な種類のビオトープが存在する。

※3 ネイチャーポジティブ：生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せることを意味する。

※4 OECM：保護地域以外で生物多様性保全に資する地域のこと。

基本方針（ビジョン）		事業	
2. コウノトリ がもたらす恵 みの好循環	(1) イメージの活用	ロゴマークを活用しま す	⑱ロゴマークの活用促進
	(2) 産業分野での活用	農産品のブランド化 <sup>※5</sup> を推進します	⑲生きものを育む農業・農産 品の情報発信
		生物多様性を育む農産 品を活用した商品開発 を支援します	⑳商工会との連携による商 品開発支援
		教育旅行誘致やガイド 育成を推進します	㉑ガイドの育成 ㉒教育旅行誘致
3. 継続的な活動を支える仕組み づくり	市民や企業等が参加 し、主役となって支え ていきます	㉓市民・団体等の協力体制 の拡大	
	継続的な活動ができる よう、多様な財源を活 用し、支えています	㉔クラウドファンディング <sup>※6</sup> 型ふるさと納税の実施	
		㉕コウノトリ関連の商品の 収益の循環	
	専門機関や関係団体等 とのネットワークを活 用します	㉖専門機関・関係団体等と の連携	
進行管理により、アク シヨンプランを着実に 実施します	㉗事業の進行管理		

※5 ブランド化：ここでは、ネーミングやデザインだけではなく、情報発信によりその価値が消費者に認知をされている状態を指す。

※6 クラウドファンディング：不特定多数の人がインターネット等経由で、共感するほかの組織等に資金提供や協力などを行うこと。



## V. アクションプラン

### コウノトリの保護に関する基本的な取り組み

特別天然記念物であるコウノトリを保護するための基本的な取り組みとして、専門機関や関係団体の指導及び協力の下で、営巣時の観察や足環装着を実施します。自然環境の保全や観察ルールの周知、水辺環境の整備などにより、コウノトリが安全に生息できる環境づくりに取り組みます。有害鳥獣対策に関しては、関係団体等と今後とも慎重に検討していきます。コウノトリの愛称募集も継続します。

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
① 保護活動	専門機関や関係団体と連絡調整しながら、コウノトリの保護活動として、営巣時の観察や足環装着を継続する。						文化財課・林業振興課・地域振興課
② 観察ルールの周知	市報等で観察ルールについて広く周知する。現地周辺には注意喚起の看板を設置する。						文化財課・地域振興課
③ 自然環境の保護	自然環境の保護や不法投棄防止について市報等で啓発するとともに、パトロールや島根県の公共用水域測定計画に基づく水質検査を実施する。						環境政策課
④ 水辺環境の整備	国土交通省等と連携し、水鳥の生息に適した斐伊川等の護岸や河川敷を整備する。						都市計画課
⑤ 愛称募集	市内で生まれたコウノトリのヒナに公募により愛称をつける。						地域振興課

## 1. コウノトリが継続的に営巣できる豊かな環境づくり

コウノトリが継続的に営巣できる環境づくりをするために、まず、コウノトリや生物多様性に関する理解を拡げ、深めるために情報発信や学習会等を実施します。その上で、環境づくりの核となる取り組みとして多種多様な生きものを育む農業を推進します。そして、その状況を評価するための調査などにより、生物多様性の保全に取り組みます。

### (1) 学習・情報発信

コウノトリの生態をはじめ、生物多様性やその保全等について市報等を活用した情報発信や学習会を開催し、市民等の関心や知識を高めます。

#### ●コウノトリに関する情報を積極的に発信します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管	
⑥市報等での情報発信	市報や市のホームページにコウノトリのコーナーを設け、営巣状況等を積極的に紹介する。	市報、ホームページへの掲載						文化財課・地域振興課
⑦定点カメラの活用	繁殖時の観察用定点カメラの画像をインターネット等で公開する。	インターネット等で公開						文化財課
⑧施設等での展示	図書館、文化ホール等の公共施設やイベントでのパネル展示を促進する。	実施						文化財課・地域振興課

●市民がコウノトリや生物多様性を学ぶ機会を設けます

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
⑨学習会の開催	コウノトリや生物多様性をはじめ、市内の取組や調査結果などをテーマに学習会を年2回程度開催する。						文化財課・地域振興課
⑩団体等による学習会の開催の支援	出前講座のメニューにコウノトリ・生物多様性を追加し、市内の団体等が実施する学習会を支援する。		検討・準備				文化財課・地域振興課
				出前講座の実施			

●学校等で生物多様性を学ぶ機会を設けます

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
⑪生きものに関する学習の推進	関係図書の購入や小中学校における生きものを題材とした学習や田んぼでの生きもの調査などの取り組みを推進する。						学校教育課
				生きもの調査等の実施状況の調査			
				図書購入			

## (2) 生きものを育む農業の推進

雲南市には、棚田などの耕作に労力を要する水田が多くありますが、農家の努力によって受け継がれてきたことが、コウノトリの飛来・営巣につながったと考えられます。

今後もコウノトリが継続的に営巣していくためには、水田農業を維持していくことが重要です。中山間地域の農地の維持を目的とした中山間地域等直接支払制度などを今後とも積極的に推進します。

環境に配慮した農業を推進するため、冬季湛水<sup>※7</sup>や中干し<sup>※8</sup>の時期の調整などについて検討し、農作業等に支障のない範囲で啓発を行います。特に山際の水田で主に見られる水田の中の溝「よけじ<sup>※9</sup>」や、ため池が生物多様性における重要な役割を果たしており、その調査・検討ののち取り組みを啓発します。また、これまでも市内で取り組まれてきた減農薬等の取り組みを引き続き推進します。

### ● 生物多様性を育む水田農業を維持します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
維持・推進 ⑫ 水田農業の	水田農業を維持するため、中山間地域等直接支払制度等の活用を推進する。	中山間地域等直接支払制度の活用					農業総務課

### ● 環境に配慮した農業を推進します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
⑬ 環境に配慮した農業の推進	減農薬栽培、冬季湛水、よけじ設置等を農業団体等と連携して推進する。 環境保全型農業直接支払交付金制度を活用する。	減農薬栽培等の推進					農業総務課・地域振興課
		環境保全型農業直接支払交付金制度の活用					

※7 冬季湛水：稲刈りが終わった水田に冬期も水を張る農法。雑草の抑制効果等のほか、生物多様性を高める効果があるため、水鳥の生息環境として重要な役割があるとされる。

※8 中干し：初夏に田んぼの水を抜き、表面を乾かして稲を丈夫にしたり、田面を固くする作業。時期を延期するとオタマジャクシなどが成長する期間を確保することができる。

※9 よけじ：排水促進や用水を温める目的で掘られた水田内の溝。この溝には、入水前や落水後にも水が溜まっていることが多いため、様々な水生生物が水田に水がない時期の生息場所として利用する。「よけじ」という呼称は主に大東町の一部地域で使われている慣習的表現。

### (3) 生物多様性の保全

コウノトリや生物多様性を育む取り組みには、科学的な調査や分析が欠かせません。農産物のブランド化にも重要な証拠となると考えられます。このため、専門家等と連携し、コウノトリの行動分析や水田・ビオトープの生きもの調査を実施します。また、大学等の調査・研究を積極的に受け入れられるよう、ホームページ等で情報発信します。これらの調査・研究の結果は学習会等の機会を通じて公表していきます。

共生という観点では、水田農業を維持することが重要ですが、耕作困難な農地については、他の農地への悪影響も懸念されることから、耕起・水張りなどを行い復田できるような管理（ビオトープ化）により、生物多様性を育む環境づくりを推進します。この具体的な方法については、専門家等と検討し、啓発を図ります。

#### ● 専門家によるコウノトリや生物多様性に関する調査を行います

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管	
⑭ 生息環境に関する調査	専門家等の指導や協力のもと、地域自主組織や学校などとも連携して、コウノトリや生物多様性に関する調査を実施する。	調査実施						文化財課・農業総務課・地域振興課
⑮ 調査・研究の積極的な受け入れ	大学等による調査・研究を積極的に受け入れる。調査研究結果は学習会等で公開する。	調査・研究の受け入れ						文化財課・地域振興課

●耕作困難な農地のビオトープ化を推進します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管	
⑩ 耕作困難な水田のビオトープ化の推進	耕作困難な水田のビオトープ化の方法を検討し、普及を図る。	方法の検討		普及啓発				農業総務課・地域振興課

●ネイチャーポジティブの実現に取り組みます

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管	
⑰ OECMの推進	企業や団体等と連携して、自然共生サイトへの登録を推進する。	候補地の検討・選定			登録申請			環境政策課・農業総務課・地域振興課

## 2. コウノトリがもたらす恵みの好循環

コウノトリは、「赤ちゃん」や「幸せ」を運ぶ鳥といったイメージが広く浸透しています。コウノトリをはじめとする生物多様性を育む取り組みは、経済などにも好影響をもたらすことが考えられます。継続的な取り組みを行うためにも、コウノトリによってもたらされる恵みの積極的な活用による好循環を生み出します。

### (1) イメージの活用

「“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくり」のロゴマークを作成しました。市内の農業者・団体・企業をはじめ、行政における環境関連、定住、子育てなどの分野において活用していきます。

#### ● ロゴマークを活用します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管	
⑱ ロゴマークの活用促進	「“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくり」ロゴマークの活用を促進する。	活用促進						地域振興課・商工振興課

## (2) 産業分野での活用

コウノトリや生物多様性を育む取り組みの中で生産される農産物については、その理念、労力、ストーリー、証拠などを市のホームページ等で発信することにより、付加価値の高いものとなるよう取り組みます。さらに、雲南市商工会等との連携により、農産物やコウノトリなどのイメージを活用した商品の開発を進めます。農産物や開発された商品は、ふるさと納税の返礼品などへの登録を推進します。

また、雲南市観光協会等と連携し、専門家のアドバイスのもと、生きものの観察などのツアーの開発を取り組みます。

### ● 農産品のブランド化を推進します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管	
⑱ 生きものを育む農業の取組の情報発信	水田の生きものや生物多様性を育む農業の取り組みや農産物をホームページ等で積極的に紹介し、ブランド化を推進する。	情報収集・発信						農業総務課・地域振興課

### ● 生物多様性を育む農産品を活用した商品開発を支援します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
⑳ 商工会等との連携による商品開発支援	雲南市商工会等と連携して研修会等を開催し、生物多様性を育む農産品を活用した商品開発を支援する。	研修会等の開催		商品開発・販売			商工振興課

●教育旅行誘致やガイド育成を推進します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管	
②① ガイドの育成	研修会を開催し、コウノトリや生物多様性に詳しいガイドを育成する。	研修会開催						観光振興課
②② 教育旅行誘致	雲南市観光協会と連携し教育旅行誘致と情報発信する。	情報発信、教育旅行誘致						観光振興課

### 3. 継続的な活動を支える仕組みづくり

生物多様性を育む活動を継続していくためには、多くの方々の参画や支援が必要となります。市民や団体等の自主的な取り組みを支援するとともに、共感する個人や団体等が様々な活動に参加できるような仕組みとしてリスト等を作成します。

さらに、クラウドファンディング型ふるさと納税などによる多様な財源を活用し、コウノトリや生物多様性を育む活動を資金面で支えていきます。

また、関係団体、専門家等との様々な活動がより効果的・効率的に取り組めるよう「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会（事務局：国土交通省出雲河川事務所）」や「出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会（事務局：島根県、出雲市、雲南市）」などのネットワークを活用します。

このアクションプランを着実に実施するため、各所管課等と連絡調整をしながら事業の進行を管理します。

#### ●市民や企業等が参加し、主役となって支えていきます

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
⑳ 市民・団体等の協力体制の拡大	様々な活動に参加できる市民・団体等をリスト化し、活動参加を呼びかける。	情報収集・募集					地域振興課

●継続的な活動ができるよう、多様な財源を活用し、支えていきます

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
②④ ふるさと納税の実施 クラウドファンディング型	コウノトリと共生するまちづくりプロジェクトを掲げてクラウドファンディング型ふるさと納税を実施する。						地域振興課・政策推進課
②⑤ 収益の循環 コウノトリ関連商品の	コウノトリ関連商品の収益の一部をコウノトリと共生するまちづくりの事業へ活用する。						商工振興課・地域振興課

●専門機関や関係団体等とのネットワークを活用します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管
②⑥ との連携 専門機関・関係団体等	専門機関や関係団体との連携により様々な活動がより効果的・効率的に取り組めるようネットワークを活用します。						地域振興課

● 進行管理により、アクションプランを着実に実施します

事業名	事業概要	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	所管	
②① 事業の進行管理	着実な事業実施のための、各所管との連絡調整をしながら各事業の進行を管理する。	進行管理						地域振興課



幸せを運ぶコウノトリと  
共生するまちづくり

雲南市